



P.UNITED

報道関係各位

2024年10月18日

P.UNITED

パラリンピック9競技団体の共同プロジェクト「P.UNITED」

## パリ大会にてプロジェクト参加競技団体の選手が5つのメダルを獲得

「P.UNITED」とは、9つのパラリンピック競技団体が合同で活動するプロジェクトです。先日閉幕したパリパラリンピック大会にて、本プロジェクトに参加する3つの競技団体から5人のメダリストが生まれましたのでご報告させていただきます。

「P.UNITED」は、財政基盤が弱く、組織運営の余力がないという共通の課題に対して、また「健常者と障がい者がごく当たり前に共に過ごせる社会作りをしたい」という共通の目的に対して、競技団体としての基盤を強化するために2023年6月に立ち上がったプロジェクトです。本プロジェクト開始以来、パートナー企業様とのパラスポーツ体験イベントの実施や、集合アートプロジェクトへの参加、複数競技団体による対談形式の講演会など、9つの競技団体合同のプロジェクトならではの取り組みを実施し、3社のスポンサー（公益財団法人日本モーターボート選手会、株式会社第一情報システムズ、山九株式会社）をはじめ協力していただける方々も増えています。

パリパラリンピック大会で獲得した5つのメダルをはじめ、今後も「P.UNITED」は、選手たちの更なる活躍、そして独自のプロジェクトとしてパラスポーツ全体や社会への貢献を目指し、より具体性を持った新しい取り組みを実践して参ります。

### ■メダルを獲得した所属団体の選手一覧およびコメント

#### ○日本知的障害者水泳連盟

##### 【木下あいら・銅メダル】

初めてのパラリンピックでメダルを獲得できたことは良かったですが、結果としては満足していないし、悔しい気持ちの方が大きいです。出場してたくさんのかんことを経験し、たくさんの人に応援してもらって、次に繋がる大会になりました。今回1番人の優しさを感じたのが、200自由形で結果が伴わず泣いていたら、オーストラリアの選手が励ましてくれたことです。英語はあまりわからないのですが、すごく嬉しかったです。これから英会話を勉強し他の選手に同じことができる選手になりたいと思いました。そうしたら今以上に楽しく水泳ができ、きつい練習も頑張れそうです。

##### 【山口尚秀・銅メダル】

この3年間、100m平泳ぎの世界記録保持者としてパラリンピック2連覇に向けてがんばってきました。地元や連盟のコーチ、所属先など多くの方々にご支援をいただき、練習や合宿、大会などに臨んできました。目指していた色には届きませんでしたが、皆さんのおかげで銅メダルを獲得することができました。大会1か月前の練習中に左足指を骨折し、歩くこともできず出場が絶望的でしたが、色々な方々のおかげでスタート台に立つことができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

#### ○日本知的障がい者卓球連盟

##### 【古川佳奈美・銅メダル】

私は前回の東京2020大会で、得失ゲーム差によりメダルを逃しましたが、この事で「1点の大切さ」を知り、パリのメダル獲得につながりました。前回悔しい思いをした分、パリで獲得したメダルの価値は全然違いました。1点の重みを知った分、試合では一本でも多く返す事を意識して試合に挑みました。

色は銅ですが、親もコーチも凄く喜んでくれた事が、私は嬉しかったです。表彰式で実物のメダルを見た時、実感が湧いてきて本当にメダルが取れてよかったです。沢山の応援、ありがとうございました。

#### 【和田なつき・金メダル】

パリ大会は、私にとって最高の夢の舞台となりました。ドローが出るまでは、毎日楽しく練習が出来ていました。対戦相手が決まってからは、プレッシャーや重圧に押し潰されそうでした。準決勝の相手は5月に負けている相手だったので、リベンジするぞという気持ちで挑みました。とても苦しい試合を制し、決勝へ。勝っても負けても最後の試合だったので、過去最高の自分で勝ちきり金メダルを獲得しました。閉会式では旗手をつとめる事になり、自分を誇らしく思いとても幸せでした。私にとってパリ 2024 パラリンピック競技大会は、最初で最高の思い出になりました。このような経験をさせていただいたことに、感謝しかありません。皆さま、ありがとうございました。

#### ○日本パラ射撃連盟

#### 【水田光夏・銅メダル】

本大会、銅メダルを取ることができました。皆さんたくさん応援していただいて本当にありがとうございました。ファイナル出場を目標に掲げて臨んだ今大会で、銅メダルを獲得することができました。日頃からのご声援、ご支援に心から感謝しています。今後もより良いパフォーマンスを目指します。

#### 【P.UNITED について】

東京 2020 大会が終わり、国からの助成金や企業からの協賛金などがそれまでに比べると減少しました。そのような流れに危機感を抱いた障がい者スポーツ9競技団体による共同プロジェクト「P.UNITED」を2023年6月より立ち上げ、それぞれの競技団体の組織基盤強化につながるマーケティングや広報活動を手を携えて行っています。競技認知の向上、競技人口の増加、アスリートの練習環境、財政面など、パラスポーツ団体が直面するそれぞれの課題に対して、団体ごとの経験や知恵を共有することで、より大きな課題に取り組んでいきます。

#### <P.UNITED を構成する9団体>

一般社団法人日本車いすカーリング協会、一般社団法人日本パラカヌー連盟、一般社団法人日本障がい者乗馬協会、特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟、一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟、一般社団法人日本知的障害者水泳連盟、一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟、特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟、一般社団法人日本パラフェンシング協会

#### <9団体での活動方針>

- ①楽しみを通じて知っていく。社会を変えていく推進力としてのパラスポーツの力を信じる。
- ②共に試行錯誤する。パラスポーツ同士、さらには企業との連携など新しい取り組みに挑戦。
- ③D&I、Well-Being、といった、社会や企業の今日的課題にも9団体らしい多様なアプローチを検討。

#### 《P.UNITED/本リリースに関するメディアからのお問合せ先》

P.UNITED 広報事務局 ( 株)ユース・プランニングセンター内 )

担当：粟林 (アワヤシ) Email : [punited-event@mediaoffice.co.jp](mailto:punited-event@mediaoffice.co.jp)